大成小　秋畑小　5度目の交歓会

# 山へ来た都会の子

## 秋畑、シシ舞などで大歓迎

秋畑小学校（野口文五郎校長）と、大宮市大成小学校つまり山間地と都会地を結ぶ交歓会は、36年1月から両校児童の文通をきつかけにはじめられました。そして、その年の4月には、秋畑小児童八名と職員四名が大成小のよい子たちの招待を受けて、東京見学をさせてもらつたり、父兄の家へ分宿して歓迎を受けました。このとき、秋畑小からはシャクナゲ、三波石、ソバなどの山の幸（さち）を、おみやげに持参しました。これが第一回の交歓会で、それからも年々続けられ、大成小のよい子たちを秋畑小で招けば秋畑小のよい子たちが大成小へ招かれ、雑誌が送られてくればわらびを取つて送るというように、ますます友情は深められました。

こうしたことを通じて「未知の世界を見聞し、社会道徳を育て、美しい心情をやしなう。児童の人生によい夢と思い出をもたせ、成人後もこの友情が生きるようにしたい」という趣旨は、十分に果されつつあるようです。

7月22、23日の2日間、こんどは秋畑小で大成小のエンゼル会員五十八名を、招きました。これが、五回目の交歓会となつたわけです。

この日、秋畑小児童やPTA役員、父兄多数に出迎えられた大成小エンゼル会の子どもたちは、秋畑小で歓迎のあいさつや、お友だちとの対面をすませてから、十二区の人たちが総出動で整地、給水、便所作り、かまどの設置などをして待つている藤田峠へ登り、秋畑小の子どもたちといつしよにキャンプを行ないました。夜は、キャンプファイヤをかこんで歌をうたつたりまた、部落の人たちが熱演してくれたシシ舞いに太古の昔をしのび、大成小エンゼル会の子どもたちや父兄は、大喜びでした。

また、地元の父兄は、帰りには部落のはずれまで笛、太鼓で歓送するという協力ぶりをみせ、帰るエンゼル会の子どもたちや父兄は、このうえない感激をおぼえた様子でした。

現在、青少年の犯罪はあとをたたぬどころかますますふえる傾向にありますが、この交歓会をさらに長く長く続けることによつて、秋畑小、大成小からは犯罪をおこすような青少年が出なくなるものと確信いたします。

写真はキャンプファイヤーを囲みシシ舞を見る子どもたち

## 国保の療養費

### 給付には条件がある

国保の療養費は、保険証の通用しない医療機関にかかつた場合、次の三つにあてはまらないと給付されません。

① 甘楽町長に事前に申しでて、許可された療養

② 旅行中に急病にかかつたり、傷害を受けたが保険診療を受けられなかつたとき

③ 生血の輸血代金及びコルセットの装着

## 牛の流行性感冒

### しろうと療法は危険

これから流行が心配される家畜の病気に、流行性感冒がありますが、この病気にかかつた牛は、発熱したり、食欲が減退したり、下痢などの症状をおこして反すうをやめ、乳の出る量が少なくなります。また、ノドや食道がまひをおこし、食うことも、飲むこともできなくなつてしまうので水分の不足をきたし、心臓が弱つて死んでしまうことがあります。

水分を補給するために、ビールビンなどで無理に水を飲ませると、肺に水がはいつて肺炎を併発することがありますので、症状がかるくなるまで、注射などで水分を補つてやらねばならないやつかいな病気です。

これは法定伝染病でもありしろうと療法は危険です。家畜保険所や役場へ届け出て、専門家の処置を受けることが大切です。

## 定例行政相談は

### 毎月5日に

役所への苦情・要望などの相談は定例相談日をご利用下さい。

定例相談日…毎月5日　9時～15時（この日が日曜のときは6日）、場所は役場内です。

行政相談委員佐藤ミネ

# 広報のしおり

## つけものの効用

毎日の食卓に欠かすことのできないつけものには、いろいろの利点があります。とくにヌカづけは、ヌカのビタミンB1がつけものにうつるので、生の野菜より九倍もB1が多くなります。また乳酸菌の働きで、ヨーグルトを食べたと同じように腸の中の雑菌の繁殖をふせぎ、整腸にも役立つのなのです。

さらに酵素の働きで消化がよくなり、からだ全体の組織の働きをも助けることになります。

ビタミンA、Cをとるには、即席づけか一夜づけがよく、一、二ケ月つけたものは、A、Cの給源にはならないといわれています。カルシウム給源としても大切な役割をはたしていますので、主食や副食で補えないものをつけもので補なうように心がけ、とくに、食欲の増進にも役立つものです。

## ひきつけても平静に

子どものひきつけは、病気にかかつたときに、一つの症状として起るもので、とくに幼児に多く、脳に関係しておこるものと、脳に無関係でおこる二つの場合があります。

ひきつけをおこしやすい病気としては、急性の伝染病、脳膜炎、疫痢、てんかん、脳性小児まひなどですが、急性肺炎や感冒などで急に高熱のでるときにもおこしやすいものです。

ひきつけがおこると、周囲のものはびつくりしてしまいますが、応急手当としては、安静に寝かせ、胸を開いてやつて呼吸を楽にさせ、頭を冷やし、手足をあたためてやります。ひきつけがひどいと、舌をかむこともあるので、ガーゼか清潔な布をまるめてかませ、大急ぎで医師を呼ぶことです。

## 台風にそなえて

台風シーズンが近づいてきました。

なんといつても困るのは雨もりです。トタン屋根の穴あきなら大きめの厚地の布を当てて、コールタールをぬり、またその上に布を当ててコールタールをぬるというように何回もくり返すとうまくふさがります。かわらがずれているときはその位置に直し、かわらがこわれているときは、とりあえずトタン板をさし込んでおきます。こういうと簡単のようですが、屋根は斜めになつていますから、足をすべらせて落ちないようにしてご注意ください。

大修繕をする必要のある場合には、専門の職人さんに「いつごろまでに、これだけの予算でこことここを直してもらいたいのだができるだろうか？」とはつきり相談します。代金の支払い方法も、最初に打ち合わせておくと、お互に楽いです。

## 螢光灯の知識

◇冬は白色、夏は◇
◇昼光色が適す◇

普通の螢光灯には、白色と昼光色の二つがあります。白色ではややあたたかみのある感じの光色となり、昼光色では清涼感のある光色となるので、冬期間は白色のものを使用し、夏の間は昼光色を使うと、季節に合つた照明ができるわけです。しかし、明るさ本位の照明を必要とするところでは、白色を使用するほうが適しています。

天然白色、天然昼光色ののは、いずれも照らされたものの色が、太陽に照らされたと同じ色にみえるようにつくられているものですから、居間や客間、台所などの照明に適しているといえましょう。

また、とくに正確に色採をみる必要のある場合には、真天然白色、真天然昼光色のランプがすぐれています。しかし、明るさの点では劣ります。

## 9月の天気

20日ごろまでは移動性高気圧が通り、割合い天気がよく気温は平等なみかやや高め。下旬はくもりか雨の日が多く気温はやや低め。降水量は平等なみか、ところによりやや多めとなる見込みです。

## 台風なんかこわくない

こんな無知とゆだんがいちばん危険です。台風が近づいたら海や山へはストップし、家の補強や避難の用意をしましょう。

## 小口融資返済は10月末日までに

小口資金の融資を受けた商工業者のみなさん、返済は10月31日までです。

## やさしい交通きそく

◎車は、横断歩道では一時とまる。

道路交通法の一部が改正され、7月1日からは、車は横断歩道を人がよこぎろうとしているときは、一時停止しなければなりません。

歩行者は、横断歩道でぐずぐずしていたり、他の交通のめいわくにならないようにしましょう。

横断しようとしているとき車がとまつて道をゆずつてくれたら「あたりまえ」だと思わないで、「ありがとう」という感謝の気持ちで、会釈ぐらいはしたいものです。

## 警察官を募集

ただいま、群馬県の警察官を募集しています。

○採用予定人員…120人

○募集期限…9月14日まで警察署か警察本部で受付けます。

○試験日…9月22日

○受験資格…学歴は問わないが、高等学校卒業程度の学力が必要です。年令は、昭和10年4月2日から昭和21年4月1日までに生れた男子で、身長は160cm以上の者。

○採用時期…合格した人の希望により、本年10月15日（50名）、または、来年の4月1日（70名）採用されます

○採用されると…警察学校で1年の教育を受けてから、警察署に勤務することになつています。その後は、実力次第で昇進する道が開かれています。

○給料…初任給は1万2千300円で、このほか家族手当特殊勤務手当などが支給され衣服も現物支給されます。

○その他…くわしいことは、警察署、駐在所に問い合わせて下さい。

## 自衛隊を見学して

小幡婦人会長　飯塚あい

農休みの一日を利用してバス二台で相馬ガ原の自衛隊を見学した。途中、金古の整肢療護園に立ち寄り、療護施設や肢体不自由児の歩行訓練の様子等を見せていただき、目的地相馬ガ原へ向う。

広い緑の相馬ガ原にりつぱな隊舎が立ちならび、関東平野を一望におさめる実にすがすがしい環境だ。到着すると郷土出身の堀口さん（大字小幡出身の堀口忠孝さん）をはじめ、たくさんの隊員の出迎えを受け、講堂へ案内された。

ここで、隊長や係員からいろいろと説明をきいた。自衛隊の目的は国を守り、天災地変には出動して国民の生命財産を守るのだということ、ことしの冬新潟地方を襲つた豪雪のときは出動し、現地からたいへん感謝されたことなど話してくれた。

訓練は規律正しく厳格に行なわれているが、昔の軍隊のような暗いところはなく、楽しい集団生活が行なわれている。もちろんピンタはなく、休み時間には嫁の話しも出て、「嫁には上州の娘を」と言つたふん囲気である。

次に舎内見学。ベッドは一糸乱れず整えられ、風呂は温泉地の大浴場をしのぐデラックスなもの。娯楽施設も完備していてなに一つ不自由はない。売店もあつて、市価より二割程度安いので、参加したおかあさん方もアレコレと買いこんだ。

食堂にはいつた。実に清潔な感じ。きようの献立はおろし大根にクジラの揚げ物だ。一列にならび、各自お盆を持つて、用意された物を次々に取つて行くセルフサービス式のやり方だ。大変おいしく、特に栄養については十分注意しているという。

食後、信州松本部隊の音楽演奏を聞かせてもらつた。曲目は「大空行進曲」、「ソーラン節」をはじめ、各地方の民謡などで、ほんに楽しいひとときでした。

隊員たちは、ちようどその日が土曜だつたので、午後は風呂には入つて、あとは自由時間だそうだ。チョツトうらやましい感じでした。

私たちも、隊員のみなさまの幸福をお祈りして相馬ガ原をあとにし、伊香保、榛名を通つて帰路についた。たまたま高原祭りで、歌や、おどりや、灯ろう流しににぎわう榛名を見ながら……。